第9回おおい町まちづくりアイデアコンテスト

令和8年11月22日



SEE SEA PARKを拠点に町内外のつながり創出のためのイベント開催の提案

近畿大学　藤田ゼミ　Oh Yeah!!!!!

目次

01 はじめに

メンバー紹介 / 企画の背景

02 SEE SEA PARKについて

夏季現地活動報告/現状と課題

03 SPARTAN RACE開催のご提案

コンセプト / 成功事例 / ターゲット層

04 提案内容の詳細

コース案/競技案/運営の流れ

05 広報・集客方法

チラシ配布 / Instagram投稿

06 予算

07 期待できる効果

08 まとめ

今後の展望

メンバー紹介

近畿大学　総合社会学部　総合社会学科

環境・まちづくり系専攻　藤田ゼミ ３年生

木田昇汰　　井上凌　　米田裕紀

加楽蒼太　岡田日香莉　清川理央





本提案をご評価いただけましたら、地域のみなさまと連携し、実現に向けてチーム一丸となって取り組みます。おおい町に新たなにぎわいを生み出せるよう、最後まで責任を持って企画を進めていきます。

企画の背景　　～第9回おおい町まちづくりアイデアコンテスト～

町の内と外に住む人たちの、つながりつづくまちづくり

わたしたちは、サブテーマ１に着目し、おおい町の豊かな自然に注目し、自然を活かした体験や交流の機会をつくり、町内外の人々がつながり続けるまちづくりを目指します。

地域交流

来訪のきっかけ

継続的な賑わい

町の魅力発信

夏季現地活動報告

2026年８月24日・25日

訪問先

- SEE SEA PARK
- こども家族館
- おおい町観光協会
- おおい町役場
- 道の駅うみんぴあ大飯
- きのこの森

ご協力いただいた皆様ありがとうございました！



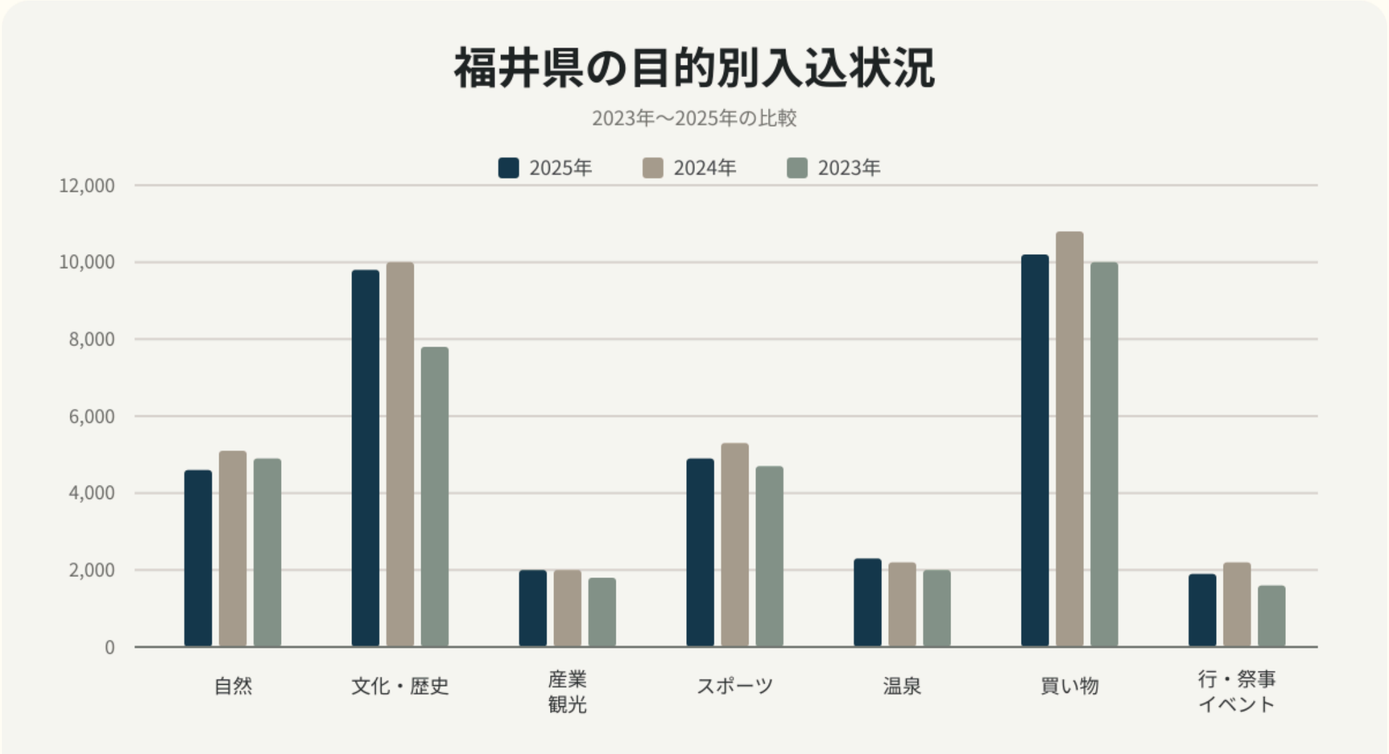
知らなかった町を、行ってみたい町へ。

わたしたち全員にとって、おおい町は初めて知り、初めて訪れる場所でした。実際にまちを歩いて出会った自然や施設の魅力。この現地での発見を、おおい町を訪れるきっかけにつなげます。

現状と課題

福井県の来訪傾向から考える おおい町の可能性

福井県では、買い物や文化・歴史を目的とする来訪が多い。自然やスポーツを目的とする来訪者をさらに伸ばす余地がある。
おおい町の海や公園を活かし、体を動す体験をつくることで、新たな来訪のきっかけと町内の回遊につなげます。



福井県交流文化部観光政策課 「令和７年 福井県観光客入込数」より作成

SEE SEA PARKの現状と課題

現状



飲食・買い物・イベントなどが楽しめる複合施設

地域住民や観光客が訪れる場所

海や山など、自然に恵まれた立地

課題

1 来訪のきっかけが少ない

飲食・買い物だけでなく、「また行きたい」と思える体験や目的が不足している

2 幅広い世代の交流が少ない

子どもから大人まで、一緒に楽しめるイベントやコンテンツが限られている

3 イベントを継続的な集客につなげたい

単発のイベントで終わらせず、再訪や次のイベント参加につながる仕組みが必要

4 来訪者を地域の消費につなげたい

イベント参加だけで終わらず、飲食・買い物や町内の観光にも繋げる工夫が必要

現状と課題

おおい町に、

わざわざ行く理由が足りない

豊かな自然や魅力的な施設を、来訪のきっかけに変える。



訪れるきっかけ

新たな目的を作る



継続的な賑わい

再び訪れたくなる町へ

その解決策として・・・

提案コンセプト

おおい町を駆け抜けろ
～走る・挑む・巡る～

・若狭湾・橋・町の景色を楽しむ
・自分のペースで障害物に挑戦する
・参加後に町の食や宿へ運ぶ



イベントロゴ案(提案イメージ)

参加者の挑戦を、おおい町のにぎわいへ。

SPARTAN RACEとは？

走る ✖ 障害物 ✖ 楽しむ



RUN
コースを走る



OBSTACLE
障害物を乗り越える



FUN
体を動かす楽しさを味わう

自然の中で、様々な障害物を乗り越えるレース！！

SPARTAN RACEとは？

世界４０か国以上で年間１７０レース以上が開催されている、世界最大級の障害物レース

スポーツツーリズム	レースを目的に町外から人を呼び、周辺の観光や飲食、宿泊につなげます。
地方創生	おおい町の自然や地域施設を活かし、町の魅力を町内外へ発信します。
地域交流	地元住民や店舗と一緒に大会をつくり、参加者との交流を生み出します。

成功事例

スパルタンレースは、各地で町に人を呼んでいる



【国内の事例① 静岡県裾野市】

スノーパークイエティで毎年開催

４回目　２８０６名　５０００名

令和5年度から継続　　参加者(令和7年度)　　来場者(令和7年度)

・スノーパークとゴルフ場跡地など、既存の場所を活用
・同日に子ども向け体験、キッチンカー、観光PRを実施
・キッズ(4〜14歳)の部もあり、家族で参加できる

【国内の事例② 埼玉県秩父市・小鹿野町】

2026年2月、埼玉県初開催

10万人超

日本での参加者(2017年から延べ31回)

・会場は秩父ミューズパーク
・西武鉄道がサポートし、地域経済の活性化や住民の交流をねらう

【おおい町への応用ポイント】

①既存の場所を会場に：SEE SEA PARKを活用
②食・観光・子ども体験もセット：一日を楽しめる企画に
③小規模から始める：まずは無理のない規模で



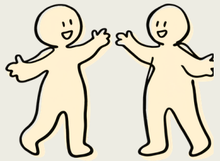
【出典】 裾野市 月例記者会見資料(令和8年7月2日)/ 西武鉄道ニュースリリース(2025年11月21日)

ターゲット層



20〜40代の
スポーツ・アウトドア好き

・ランニングやジム、トレーニングが好きな人
・「挑戦できる場」を探している人
・友人を誘い合って参加する



友人グループ・家族
企業チーム(想定)

・友人同士でチームを組んで参加
・子どもから大人まで、家族で挑戦
・職場の仲間との交流の場にも



観戦・観光を楽しむ 来訪者

・応援に来る家族や友人
・レース後に食事や観光を楽しむ人
・SEE SEA PARKと町内を周遊する人

走りたい人も、応援したい人も、みんなが主役

SPARTAN RACEコース案①

SEE SEA PARKシーサイドコース

SEE SEA PARKや芝生公園周辺を巡り、海を眺めながら
複数の障害物に挑戦するコースです。
施設や公園を活用し、おおい町の海辺の魅力を感じられ
るルートを目指します。



SPARTAN RACEコース案②

青戸大橋ブリッジコース

橋の上を走り、海に囲まれた景色を楽しめる特別なコースです。
橋の通行規制が可能な場合に実施する案として、開放感のあるレースを目指します。



※橋の使用は、関係機関との協議・必要な許可・安全確保を前提とする。

競技案(仮)

01 バーピー
10〜20回ほど行ってから次へ

02 平均台
木製の平均台を渡る

03 ハードル
複数のハードルを越える

04 柵越え
木製の壁を乗り越える

05 タイや引き
タイヤをロープで引っ張る

06 ロープ登り
ロープを登る

07 丸太運び
丸太を持って一定の距離を運ぶ

08 ネットくぐり
ネットの下をくっぐてゴール

距離：未定　　**対象：**子どもから大人まで　　**参加：**個人でもチームでも

※仮の内容。子どもが挑戦する場合は高さや回数を調整

運営の流れ

本イベントでは、参加者や地域の皆様が安全・安心に参加できる環境づくりを目指します。業務の流れやスタッフの役割分担を明確にし、当日のイベント運営から終了後のアフターケアまで、計画的かつ円滑に進めます。

01

イベント前準備

- コース及び障害物の安全点検・最終チェック
- 受付設備、救護体制・誘導スタッフの配置及び備品補充・最終確認

02

イベント開催中の業務

- ウェーブごとのスタート管理とコース内の安全誘導
- 障害物エリアでの競技判定・救護対応及び問い合わせ対応

03

撤収・終了後の片付け

- コース上の設置物・障害物備品の撤収及び会場の清掃・点検
- 落とし物の管理・安全確認記録及び次回開催に向けた運営データの記録

04

定期的な運営改善

- 参加者・地域住民へのアンケート実施とフィードバックの収集
- 運営マニュアルの見直し、安全管理研修

広報・集客方法

チラシ配布での集客

開催前から期待感を高める情報発信

チラシ配布先

- おおい町内の公共施設
- 近畿大学
- スポーツジムなど



両面チラシのイメージ画像

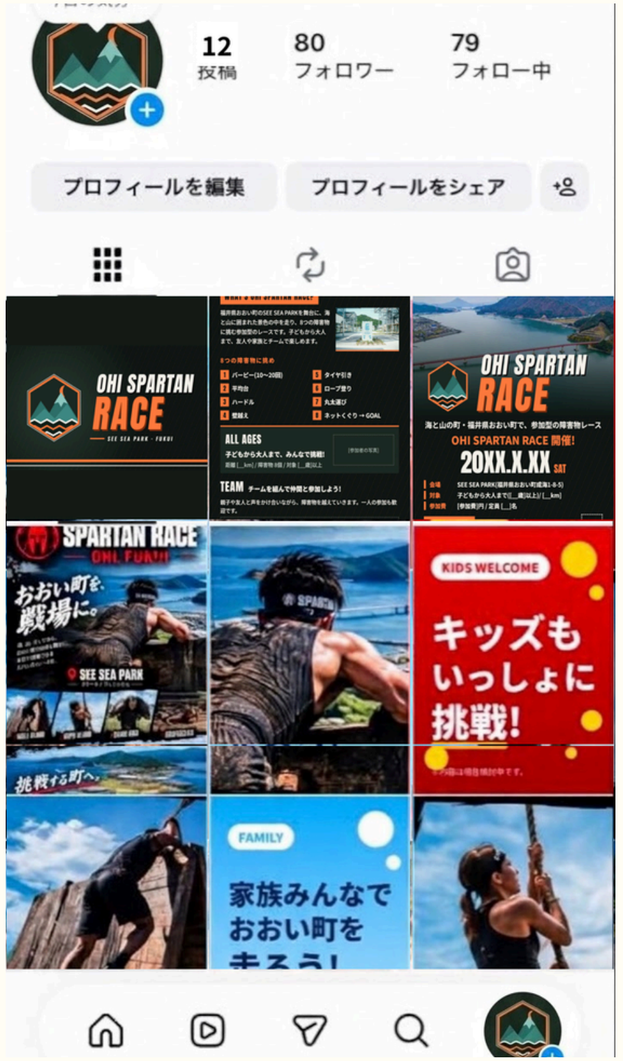
広報・集客方法

InstagramでのSNS集客

公式Instagramを開設し、大会情報と町の魅力を継続的に発信することで、認知拡大と参加者募集を行います

特徴と強み

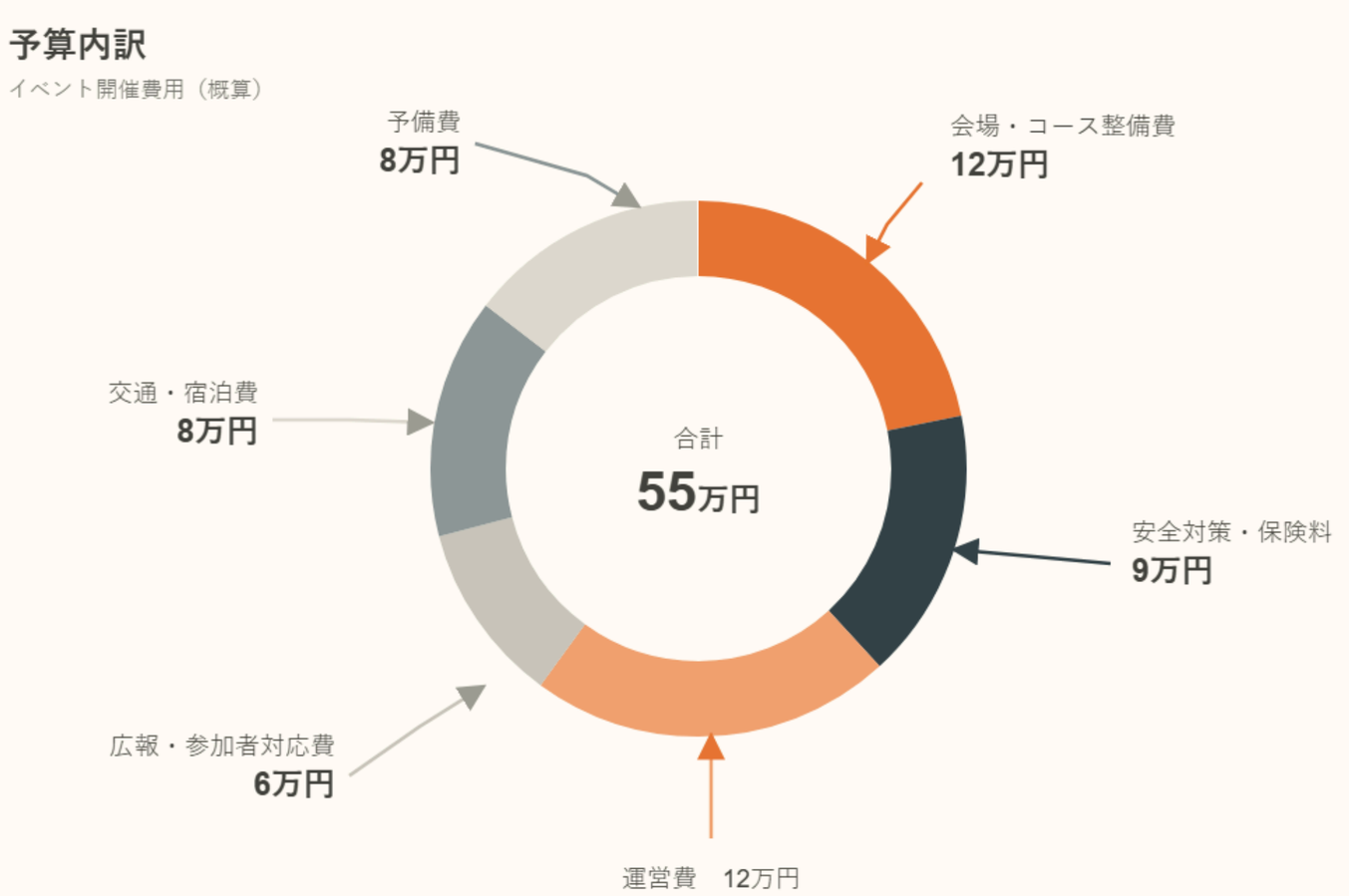
- 若い世代に届きやすいSNSを広報手段に
- キッズ・家族向けの投稿で幅広い世代へ
- おおい町の景色と組み合わせた魅力発信



Instagram投稿イメージ

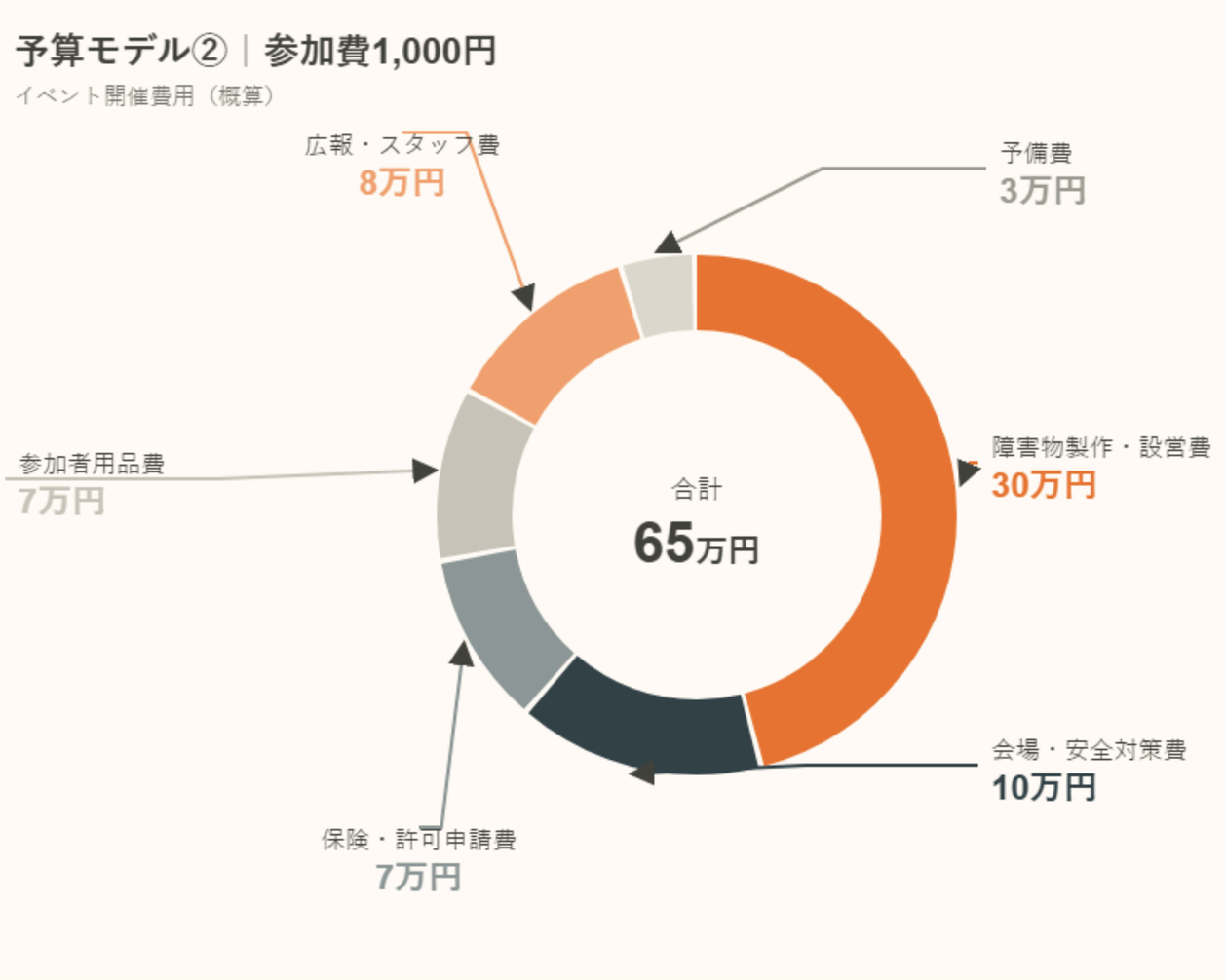
予算モデル①

項目	金額（円）
会場・コース整備費	12万円
安全対策・保険料	9万円
運営費	12万円
広報・参加者対応費	6万円
交通・宿泊費	8万円
予備費	8万円
合計	55万円



予算モデル②　参加費1000円想定

項目	金額（円）
障害物製作・設営費	30万円
会場・安全対策費	10万円
保険・許可申請費	7万円
参加者用品費	7万円
広報・スタッフ費	8万円
予備費	3万円
合計	65万円



期待できる効果

宿泊を伴うイベント

イベントは午前中の開催を考えているため、おおい町民以外の参加者はレースに備え、近隣の宿泊施設に泊まる可能性が高い

チャレンジショップへの誘致

SEE SEA PARK 周辺にキッチンカーなどのお店を誘致し、おおい町の魅力を知り、興味をもってもらう

➡ チャレンジショップの存在を広める

➡ 店を構えたい人の第一歩になる

おおい町をブランド化

「おおい町といえば、スパルタンレース」となれば、聖地化やレースの価値が上がり、人が流れてくる

➡ おおい町を目的とした観光客が増える

まとめ

01 企画の目的



おおい町に
「わざわざ行く理由」を
つくる

02 影響



SEE SEA PARKへの
来訪促進と、
地域の賑わいにつなげる

03 今後の展望



Spartan Japan Support
などの関係者と協議し、
協賛・運営体制を検討する

「足りない理由」を、「行きたい理由」へ。

走るだけでは終わらせない。

今後の展望

SPARTAN RACE（スパルタンレース）｜株式会社SRJ

https://spartanracejapan.jp/

打ち合わせ期間

2026年12月〜2027年2月頃を希望し、調整中

※日程・協賛内容は未定

協賛に向けた相談状況

Spartan Japan Support

協賛の可能性について連絡・調整しています

2026.10.28

問い合わせ・返信

開催時期と企画資料について確認

開催イメージ

2027年 夏〜秋頃を検討

※現時点では仮の想定

次のステップ

企画資料を共有し、打ち合わせへ

参考文献

- おおい町公式ホームページ:うみんぴあ大飯
- おおい町観光協会:福井県おおい町 うみんぴあ大飯エリア
- ふくい桜マラソン:うみんぴあ大飯ランニングコース
- 福井県交流文化部観光政策課 :令和７年 福井県観光客入込数
- 裾野市: 月例記者会見資料（令和8年7月2日）
- 株式会社SRJ:「スパルタンについて」, https://spartanracejapan.jp/
- 西武鉄道:スポーツの力で沿線を活性化, https://www.seiburailway.jp/



